

杵築市地域公共交通活性化協議会

平成21年2月5日設置



人口
33,261人
(H21.3.)

概要

杵築市は、大分県の北東部、国東半島の南部に位置し、東西約29km、南北約23km、総面積280.01平方キロメートルに及んでおり、県面積(6,338平方キロメートル)の約4.4%を占めています。別府湾に面する海岸地域から山間部に至るまで、地形は多様に富んでいます。また、東に大分空港、南には日出町を経て別府市・大分市に近く、北は宇佐市と隣接し、大分空港道路や宇佐別府道路、大分自動車道の3本の高規格道路の連結点として交通の要衝となっています。市内にはコミュニティバスや路線バス、鉄道が運行されていますが、少子高齢化による利用者の減少、それに伴う路線バスの廃止と負の循環に陥っています。またそれぞれの乗り継ぎの利便性も確保されておらず、利用者にとって不便が生じています。

○地域公共交通の現況

- ・JR日豊本線(駅:杵築・中山香・立石駅)
- ・国東観光バス・大分交通(路線数:10系統)
- ・コミュニティバス(運行地域:市全域で4コース16路線)

○地域公共交通の課題

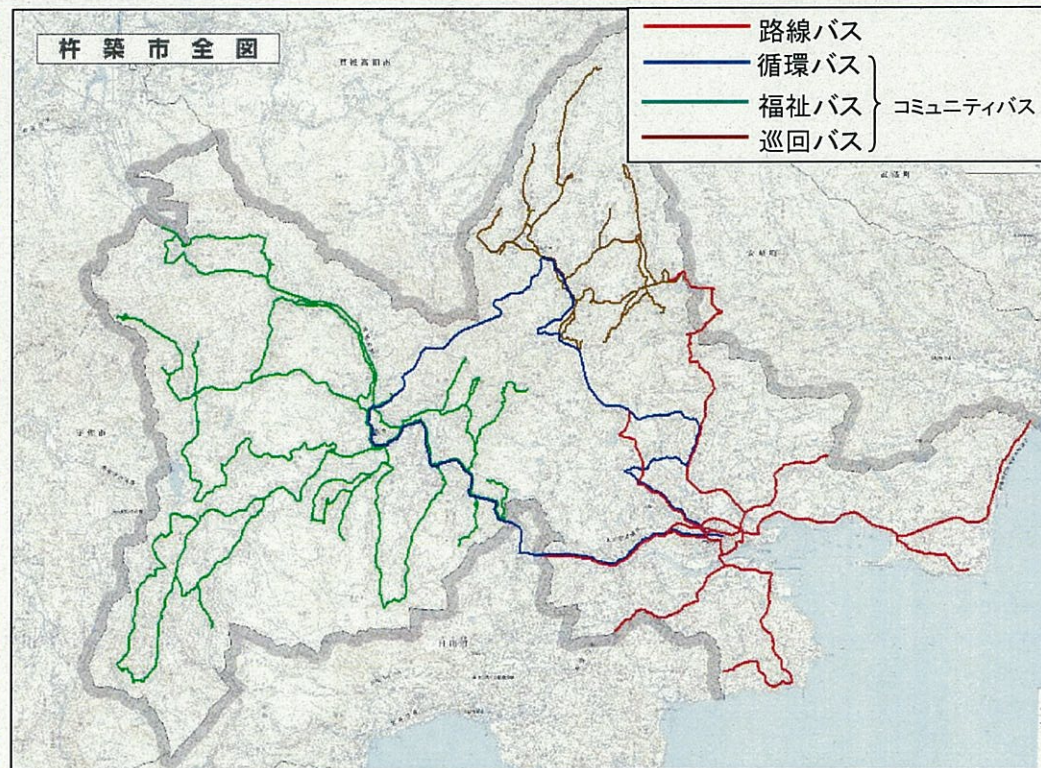
- ・現状の運行本数が少ない
- ・モード間の乗継が不便
- ・住民及び来訪者の移動手段の整備が不十分

○調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者アンケート調査
- ・運行事業者ヒアリング
- ・潜在需要分析
- ・グループインタビュー調査

○地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・モード間で連携した運行時刻の構築
- ・デマンド型交通の導入検討
- ・地域公共交通の再編検討
- ・乗り継ぎ施設整備の検討



乗り継ぎ円滑化、連携した時刻表の構築

乗り継ぎ施設等の整備検討

住民及び来訪者にやさしい交通体系の構築